



## 駅業務委託（西浦和・白岡）及び業務執行体制の見直し（武蔵浦和）について 団体交渉（3月14日）を行い議事録締結（3月30日）！

大宮地本は、西浦和駅・白岡駅業務委託及び西浦和駅委託に伴う武蔵浦和駅営業職の体制強化（標準数10人⇒12人へ増員）について大宮支社より提案を受け団体交渉を行い、議事録を締結してきました。議事録＝協約が守られているか実施以降も議論していきます。議事録締結する上で特徴的には以下の確認をおこないました。

### 【一部議事録抜粋】

- （組 合）** 白岡駅、西浦和駅を業務委託する根拠及び4月1日実施の理由を明らかにすること。また、施策の目的に踏まえ、施策実施時にエルダー社員を配属すること。なお、出向の目的は円滑な業務運営体制の構築と人材育成とすることとし、目的が達成され次第、出向期間を短縮し本体に戻すこと。
- （会 社）** 駅の要員事情が急激に逼迫していくことから、両駅を業務委託することで、エルダー社員の雇用の場を確保しつつ、グループ一体となった効率的な駅業務体制を構築していく。なお、出向についてはグループ会社の指導や人材の育成等を目的として行うものである。

- （確認事項）** ・ 施策実施時にエルダー社員を配置すること（57歳以上のエルダー希望者含む）  
・ 出向については協約に基づき原則3年以内とし、出向の役割が達成次第出向期間を短縮して本体に戻すこと。

- （組 合）** ①白岡駅において見習い社員に対しても寝室を確保し、十分な休養ができる環境とすること。  
②西浦和駅において社員用出入口が狭く急病人対応等にも苦慮していることから、レイアウトを変更すること。
- （会 社）** 駅の設備等については、関係個所と調整の上、必要なものについては整備していく考えである。

- （確認事項）** ・ 白岡駅については、見習い社員も十分な休養が取れるよう空室を利用し、寝室の整備していくことを確認しました。  
・ 西浦和駅の社員用出入口が狭いことについては、現状すぐに改善することは難しいが、問題意識は一致しました。

- （組 合）** エルダー社員の働きがいの向上に向け、駅遠隔操作システム導入に伴い発生している長日勤や、一人勤務による負担軽減に向け作業ダイヤの見直し等について、この間の議論経過を踏まえた検討及び、不安解消に向けて、関係社員の意見を把握すること。また、安全性の向上、トラブル防止に向けて設備面の充実を図ること。
- （会 社）** 業務委託後の体制については、駅業務受託会社において決定されることとなる。なお、駅の設備等については、関係個所と調整の上、必要なものについては整備していく考えである。

**※議論経過** 大宮支社では平成27年から駅遠隔操作システムが導入されてきましたが、施策を担うエルダー組合員から長日勤や早朝夜間のトラブル対応に不安があると多くの意見があり支社と継続した議論を行ってきました。委託後の体制については、委託先会社で決定することを前提としつつ、今回委託駅であり遠隔システム導入駅である白岡駅では、4月1日から10H2形から9H1形に短縮されました。抜本的解決には至っていませんが、議論を積み上げた結果不安・負担解消に向け前進させることができました。また、列停や非常通報装置、感知式のエスカレーター等設備面も本体が整備していく事を確認しました。

## 協約の重要性を認識し、働きがいある職場を創造しよう！